

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-9530  
 住 所 川崎市川崎区田辺新田1番1号  
 氏 名 富士電機株式会社  
 代表取締役社長 北澤 通宏  
 (代理人) 川崎工場長 長谷 徹  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	富士電機株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区田辺新田1番1号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	29	電気機械器具製造業
主たる事業 の内容	火力タービン・発電機の製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3.860	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO <sub>2</sub>

## (第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	当社の地球温暖化対策の取組については、ホームページにて公表しています。 <a href="http://www.fujielectric.co.jp/about/csr/global_environment/index.html">http://www.fujielectric.co.jp/about/csr/global_environment/index.html</a>

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

#### (1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

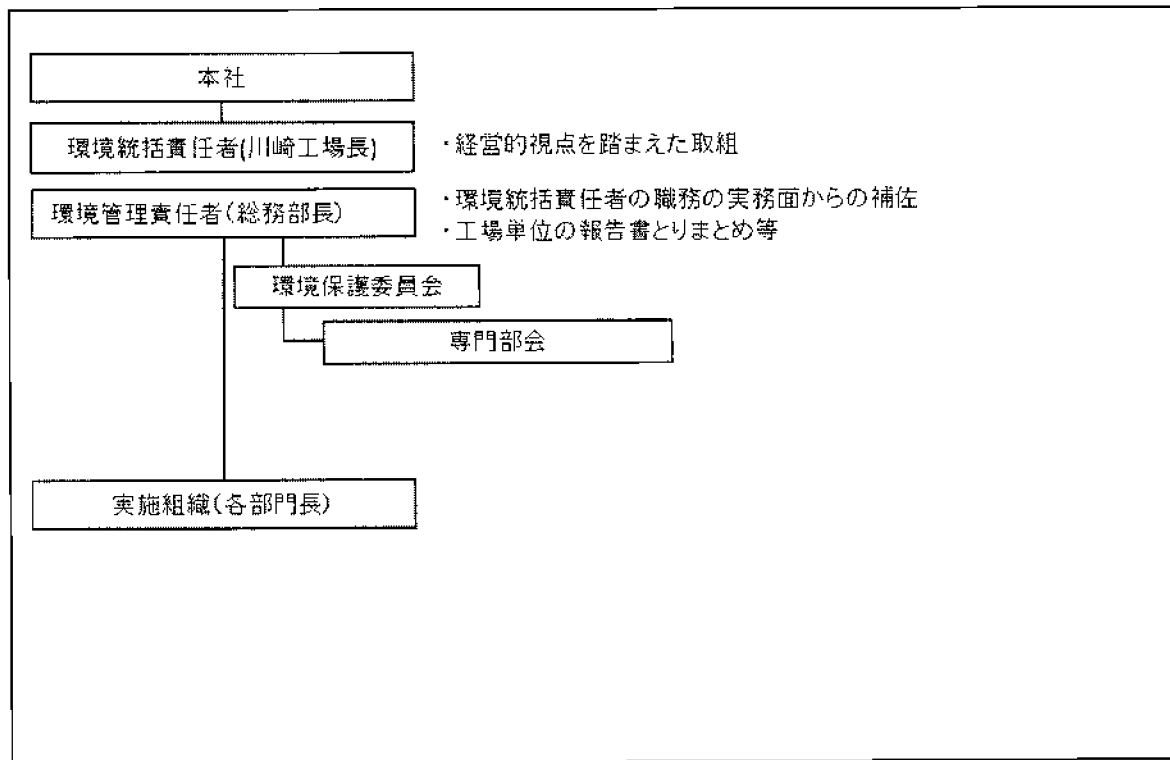
**富士電機株式会社 川崎地区 環境方針**  
 富士電機株式会社川崎地区は、地球社会の良き企業市民として、地球環境保護と環境汚染防止を経営の重要課題としてとらえ、当地区の主要製品である火力・地熱・水力・燃料電池発電用機器、原子力関連機器及びその周辺機器と各種サービスの提供を通して企業の社会的責任を果たすとともに、当社の環境保護方針に基づき、以下の環境保全活動に取り組めます。

- 当地区における事業活動のあらゆる面において、環境保全に配慮し行動すると共に環境マネジメントシステムの継続的改善に取り組みます。
- 法規制及び当地区が同意する地域社会等の要求事項、当地区が制定した自主規制を遵守し、環境保全に努めます。
- 当地区の生産活動、製品、サービスに関わる環境影響のうち以下の項目について継続的改善を行います。
  - 電力・都市ガス消費の抑制を中心とした省エネルギーを推進し、地球温暖化防止に努めます。
  - 廃棄物の抑制とリサイクルの推進により、資源の節約に努めます。
  - 大気汚染、水質汚濁の予防と規制化学物質の使用抑制に努めます。
  - 製品開発アセスメントを推進し、環境への負荷の少ない製品の提供に努めます。
  - グリーン調達を重視し、調達部品やサービスの選別と地区の情報公開に努めます。
- 地域住民とのコミュニケーションを図るとともに、地区周辺の美化運動の推進などにより、地域社会との協調連携に努めます。
- 環境教育を実施し、全従業員の環境に対する理解を深め環境保全活動の意識向上を図ります。
- 環境方針は、文書化して当地区で広く及び、地区のために働くすべての人々に周知し、環境目的・目標に展開して推進するとともに、定期的に環境影響評価を実施し、その評価結果に基づき見直しを行います。
- この環境方針を、社内外に積極的に開示します。

#### (2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC Aサイクル）を行うための方針

- 川崎地区 エネルギー消費量削減計画に基づき、省エネおよび排出量削減の目標設定を行い、年度計画を策定する。具体的な実施項目は、半期毎に開催する委員会にて確認・共有する。
- 実施項目の進捗管理とエネルギー使用量および排出量の実績管理を行い、予算管理も含めて運転・設備保全上の省エネ課題を整理し、年度計画に反映する。
- 省エネ部会で、省エネおよび排出量削減効果の検証を行い、その評価を行う。また、その評価結果により、実施項目の見直しを行う。

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準	年度	2018 年度	
目標	年度	2021 年度	
基準	排出量	(実) 7,330	(実)
		(調) 7,141 t-CO <sub>2</sub>	(調) t-CO <sub>2</sub>
目標	排出量	(実) 7,112	(実)
		(調) 6,928 t-CO <sub>2</sub>	(調) t-CO <sub>2</sub>
削減量		(実) 218 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub>
内訳	対策実施による削減量	(実) 218 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub>
	上記以外の削減量	(実) 0 t-CO <sub>2</sub>	(実) t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) 3.0 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量			
原単位の単位			
基準年度の値			
目標年度の値			
削減率		%	%

ウ 目標設定に関する説明

生産数量は横ばいとして、照明のLED化や空調機の更新等を実施することで、218tの温室効果ガスの削減を行う。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	1. 照明設備のLED化 2. 空調設備の更新 3. 冷却水ポンプのインバーター化 4. 生産設備のエネルギー管理： 電気使用量の解析結果に基づいて、蒸気および圧縮空気の運転方法を見直す。 5. 電動力応用設備の無負荷運転： 電気使用量の解析結果に基づいて、生産設備の運転方法を見直す。
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

1. ISO14001の導入 2. 燃料電池発電設備の導入 3. 事務所照明のLED化
---------------------------------------------------

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	再生可能エネルギーの導入については、全社的視点から導入計画を策定しており、今後設備等の種類を含めて導入検討を実施していく。
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他( )		
その他( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

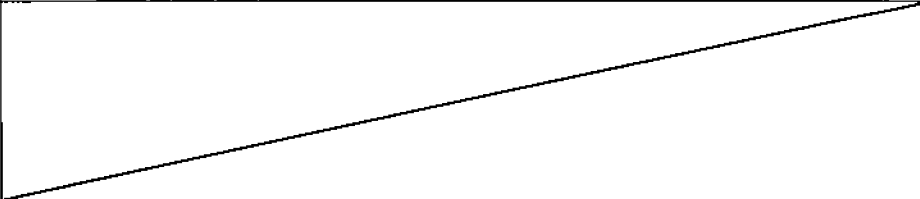
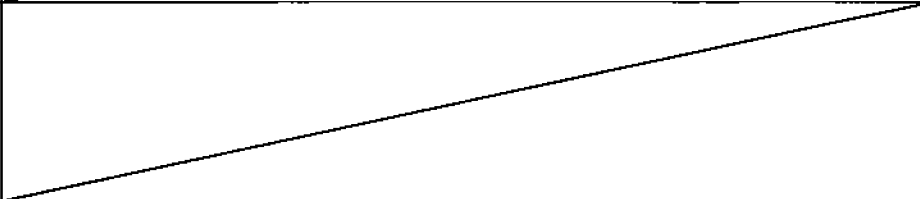
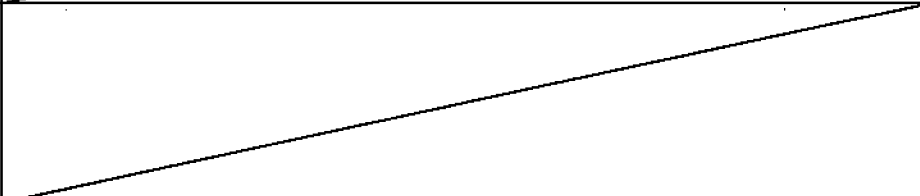
種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

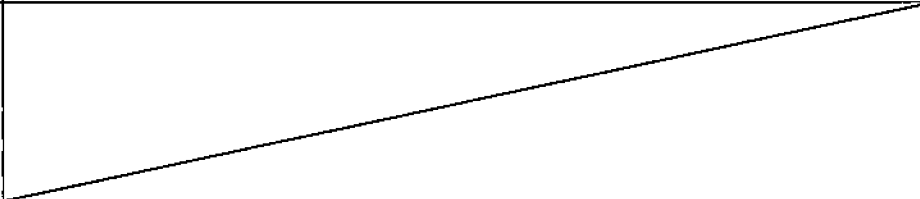
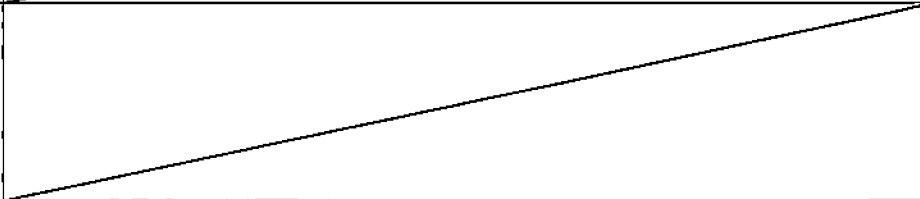
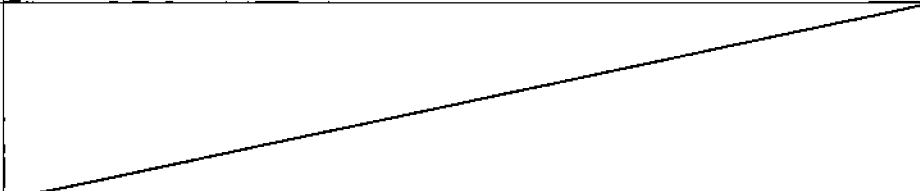
(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	△
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他( )	
EV、PHV、FCV	×	その他( )	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	低CO2川崎ブランド認定製品 製品名 : 単機容量世界最大出力140MW地熱タービン・タービン発電機 CO2削減量 : 618t-CO2
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	1. 地熱発電設備、燃料電池発電設備の供給 2. 廃棄物の減量化・分別の推進
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出量

(実)	7,330	t-CO <sub>2</sub>
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

3,860	KL
-------	----

ウ 事業所の数

1
---

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
富士電機株式会社 川崎工場	川崎市川崎区田辺新田1番1号	7,330 t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>